

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年8月13日

上場会社名 株式会社交換できるくん 上場取引所 東
コード番号 7695 URL <https://www.dekirukun.co.jp/co/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗原 将
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長コーポレート本部長 (氏名) 佐藤 浩二 (TEL) 03-6427-5381

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,548	15.9	△131	—	△128	—	△88	—
2025年3月期第1四半期	2,198	35.2	△28	—	△22	—	△18	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △89百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △18百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△37.43	—
2025年3月期第1四半期	△8.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,834	1,608	41.6
2025年3月期	3,975	1,690	42.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 1,596百万円 2025年3月期 1,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	12,200	18.5	200	22.5	200	14.4	110	46.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	2,377,500株	2025年3月期	2,375,100株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	210株	2025年3月期	210株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	2,377,118株	2025年3月期1Q	2,274,216株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2025年8月29日(金)に個人投資家向け決算説明会を開催します。この説明会で使用する四半期決算補足説明資料につきましては、決算短信の開示と同日に当社ホームページ(<https://www.dekirukun.co.jp/co/ir/>)に掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(表示方法の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済活動は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要により緩やかな景気回復が見られる一方で、米国の通商政策等の影響や為替変動、継続的な物価上昇等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済環境下におきまして、キッチン・トイレ・洗面室・浴室まわりといった日常生活に欠かせない住宅設備機器の交換サービスをインターネット上で展開している当社では、「交換できるくん」Web媒体において、これまで培ってきたWebマーケティングのノウハウや実績をもとに、Webサイトを検索エンジン上位に表示させるための検索エンジン最適化(SEO※)に取り組むとともに、テレビCM、動画及びSNSを活用することにより、サービスの魅力や特性を波及させてまいりました。また、継続してテレビCM放映を行う事でブランド認知度向上にも努めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,548,774千円(前年同期比15.9%増)、営業損失は131,091千円(前年同期は営業損失28,159千円)、経常損失は128,856千円(前年同期は経常損失22,517千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は88,960千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失18,955千円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①住設DX事業

当第1四半期連結累計期間における住設DX事業の売上高は、前連結会計年度より本格的に販売を開始した季節性商材であるエアコン等の受注獲得等により2,330,831千円となりました。セグメント損失(営業損失)は、ブランド広告宣伝費用等の先行投資等に伴い106,157千円となりました。

②ソリューション事業

当第1四半期連結累計期間におけるソリューション事業の売上高は259,922千円、セグメント損失(営業損失)は18,691千円となりました。

(注) SEOとは、検索エンジン最適化(Search Engine Optimization)の略称で、GoogleやYahoo!の検索結果で自社Webサイトを上位に表示させるために様々なアプローチでWebサイトを最適化するマーケティングの手法です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,913,508千円となり、前連結会計年度末に比べ207,517千円の減少となりました。これは主にTVCM放映等の先行投資により支出が入金を上回り現金及び預金が134,110千円、ソフトウェアの受託開発による履行義務が完了し、入金が行われたことにより売掛金及び契約資産が122,649千円減少したことによるものであります。

固定資産は1,921,203千円となり、前連結会計年度末に比べ66,510千円増加となりました。これは主に、基幹システムの機能開発によりソフトウェアが45,868千円、ソフトウェア仮勘定が25,241千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は3,834,712千円となり、前連結会計年度末に比べ141,006千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,843,559千円となり、前連結会計年度末に比べ40,233千円の減少となりました。これは主に、税金の納付により未払法人税等が41,617千円、前期末にストックした在庫商品の消化に伴い買掛金が39,409千円それぞれ減少した一方で、TVCM放映等により未払費用が36,420千円が増加したことによるものであります。

固定負債は382,694千円となり、前連結会計年度末に比べ18,619千円の減少となりました。これは主に借入金の返済に伴い長期借入金が19,752千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,226,253千円となり、前連結会計年度末に比べ58,853千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,608,458千円となり、前連結会計年度末に比べ82,153千円の減少となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が88,960千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	832,654	698,544
売掛金及び契約資産	785,871	663,222
商品	358,310	368,944
仕掛品	7,536	10,898
前払費用	85,870	93,003
未収還付法人税等	—	9,819
未収消費税等	18,019	23,809
その他	32,763	45,265
流動資産合計	2,121,026	1,913,508
固定資産		
有形固定資産		
建物	149,519	149,519
減価償却累計額	△42,692	△45,799
建物(純額)	106,827	103,719
機械及び装置	306	306
減価償却累計額	△306	△306
機械及び装置(純額)	0	0
工具、器具及び備品	46,710	48,255
減価償却累計額	△20,070	△21,857
工具、器具及び備品(純額)	26,640	26,397
車両運搬具	14,477	15,727
減価償却累計額	△7,963	△8,633
車両運搬具(純額)	6,514	7,093
有形固定資産合計	139,982	137,211
無形固定資産		
のれん	413,967	399,935
ソフトウェア	61,811	107,679
ソフトウェア仮勘定	500,108	525,350
無形固定資産合計	975,887	1,032,965
投資その他の資産		
投資有価証券	16,188	15,649
出資金	500	500
長期前払費用	201,024	222,731
敷金及び保証金	125,193	123,873
保険積立金	334,267	285,770
繰延税金資産	57,648	98,501
その他	4,000	4,000
投資その他の資産合計	738,822	751,026
固定資産合計	1,854,692	1,921,203
資産合計	3,975,718	3,834,712

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	711,238	671,829
短期借入金	230,000	230,000
1年内返済予定の長期借入金	139,839	118,778
未払金	12,462	291
未払費用	305,990	342,410
契約負債	277,420	297,547
未払法人税等	46,194	4,576
未払消費税等	40,792	24,501
賞与引当金	58,337	76,769
株主優待引当金	22,991	16,041
その他	38,527	60,814
流動負債合計	1,883,792	1,843,559
固定負債		
長期借入金	221,144	201,392
役員退職慰労引当金	8,749	9,843
その他	171,419	171,458
固定負債合計	401,313	382,694
負債合計	2,285,106	2,226,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	425,954	427,142
資本剰余金	345,954	347,142
利益剰余金	912,188	823,227
自己株式	△865	△865
株主資本合計	1,683,232	1,596,647
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	△1,016
その他の包括利益累計額合計	—	△1,016
新株予約権	7,380	12,827
純資産合計	1,690,612	1,608,458
負債純資産合計	3,975,718	3,834,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,198,505	2,548,774
売上原価	1,702,341	2,027,472
売上総利益	496,163	521,301
販売費及び一般管理費	524,322	652,393
営業損失(△)	△28,159	△131,091
営業外収益		
受取利息	9	51
為替差益	1,182	972
補助金収入	3,686	—
受取保険金	—	2,125
キャッシュバック収入	—	351
広告収入	507	568
雑収入	944	10
営業外収益合計	6,329	4,080
営業外費用		
支払利息	688	1,845
営業外費用合計	688	1,845
経常損失(△)	△22,517	△128,856
税金等調整前四半期純損失(△)	△22,517	△128,856
法人税等	△3,562	△39,895
四半期純損失(△)	△18,955	△88,960
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,955	△88,960

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△18,955	△88,960
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	△1,016
その他の包括利益合計	—	△1,016
四半期包括利益	△18,955	△89,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,955	△89,977

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間において営業外収益の「雑収入」に含めて表示しておりました「広告収入」は、金額的重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組み替えを行っています。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「雑収入」に表示していた1,451千円は、「広告収入」507千円、「雑収入」944千円として組み替えております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書 計上額(注) 2
	住設DX事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,950,181	248,323	2,198,505	—	2,198,505
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,500	13,980	15,480	△15,480	—
計	1,951,681	262,303	2,213,985	△15,480	2,198,505
セグメント利益又は損失(△)	△12,727	△9,115	△21,842	△6,316	△28,159

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,316千円は、のれん償却額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書 計上額(注) 2
	住設DX事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,329,331	219,442	2,548,774	—	2,548,774
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,500	40,480	41,980	△41,980	—
計	2,330,831	259,922	2,590,754	△41,980	2,548,774
セグメント利益又は損失(△)	△106,157	△18,691	△124,848	△6,242	△131,091

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,242千円は、セグメント間取引消去であります。これは主に報告セグメントに帰属しないシステム開発費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントに係る算定方法の重要な変更に関する事項

前第1四半期連結累計期間においてのれん償却額は調整額に計上しておりましたが、当第1四半期連結累計期間につきましては、最高経営意思決定機関である当社取締役会での決算報告におけるのれん償却額の取り扱いに合わせ、各報告セグメントにて計上する方法に変更しております。

当該変更を前第1四半期連結累計期間に反映した場合、セグメント利益又は損失(△)の調整額に記載していたのれん償却額△6,316千円がソリューション事業の費用となるため、ソリューション事業のセグメント利益又は損失は△15,431千円となります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	9,519千円	13,548千円
のれん償却額	6,316千円	14,032千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

サービス区分	売上高
商品売上	1,434,927
工事売上	515,254
開発受託売上	248,323
顧客との契約から生じる収益	2,198,505
その他の収益	—
外部顧客への売上高	2,198,505

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位：千円)

サービス区分	売上高
商品売上	1,658,076
工事売上	671,255
開発受託売上	219,442
顧客との契約から生じる収益	2,548,774
その他の収益	—
外部顧客への売上高	2,548,774

(重要な後発事象)

該当事項はありません。